

## 平成30年度 吉田町議会議員目標と自己評価

1番 山口一博

課題	取組内容	自己評価	評価理由
自己研鑽を充実させる	研鑽や講習を受け、より議員活動に反映させる。	△	講習等を受ける機会は少なかったが、団体等で学習し自己研鑽を重ね、議員活動に反映させた。
議会広報の紙面を工夫・読み易くする	写真やレイアウト、色調の工夫や記事内容をより良いものを追求し、町民にもっと分かり易い広報を発行していく。 町外研修し、紙面に反映させる。	○	広報委員で意見を出し合い、町民目線で広報誌を作成し、より見やすい紙面・写真等を提供出来た。
地域住民と協働作業をする	防災を始め、地域住民にさらに寄り添い、協働して物事に対処していく。	○	地域団体での新たな出会いで、人々と交流し議員活動に反映させた。
子どもを持つ親世代を応援する	幼児から学生まで、町の宝である子ども達に将来が明るく希望が持てるように取り組んでいく。	○	住吉宮小屋を創設し、地域住民の子どもや親世代と交流が持て、学力向上にも付与した。

※30年度末に自己評価して、公表する。

評価基準は『設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×』

## 平成30年度 吉田町議会議員目標と自己評価

2番 三輪美由紀

課題	取組内容	自己評価	評価理由
スポーツの推進	自ら健康づくりに取り組み、健康づくり事業に参加を呼びかける。 こども達のスポーツ教室を推進する。	○	スポーツの推進と、自らの体力づくりに取り組んだ。
議員の資質向上	質疑が的確に出来るように勉強に取り組む。 吉田町基本条例を順守する。 議会、議員活動の情報を公開する。	△	質疑が的確に出来なかったが、後の2つは出来たと思います。
住民の福祉向上	町民の意見を聞き問題解決を図り、結果報告をする。	○	町民の方に結果報告をした。
地域のボランティア活動に参加	子どもたちの安全を守るためボランティア活動に参加。 わっぱ宿、学校、公園の草取りなど。	△	昨年よりも回数が少なかった。

※30年度末に自己評価して、公表する。

評価基準は『設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×』

## 平成30年度 吉田町議会議員目標と自己評価

3番 遠藤孝子

課題	取組内容	自己評価	評価理由
より良い教育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TCP・トリビンス・プランの進捗状況を注視する。</li> <li>・ 子どもの居場所づくりの実践に取り組む。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの居場所づくり、主に中央小学校区について取組んだ。</li> </ul>
地区の意見や要望に尽力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大幡会館建設推進委員会や組長会を軸とし、建設に尽力する。</li> <li>・ 大幡川幹線に開通に関する調整等に尽力する。</li> <li>・ 町内行事、組長会等に参加し町民の声を聴く。</li> <li>・ 北オアシスパーク周辺の利用について住民の意見を反映させる。</li> <li>・ 防災公園としての地区の役割について住民の意見を活かす。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内行事や組長会に参加し、町政の現状報告をした。</li> <li>・ 大幡川幹線に関し、行政と地域との調整をした。</li> <li>・ 大幡会館建設推進委員として、建設に向け努力をした。</li> </ul>
地域福祉のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の居場所づくりの推進を図る。</li> <li>・ 安心した子育て支援の環境づくりに尽力する。</li> <li>・ 社会福祉協議会の事業に協力し地域福祉の推進をする。</li> <li>・ 町民が豊かな生活への支援をする。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の居場所づくりの推進、実践をした。</li> <li>・ 社会福祉協議会の事業の推進に参加した。</li> </ul>
男女共同参画社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女が協働して特性を活かし力を発揮できるよう支援、提案する。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女共同参画に関する事柄や事業の支援をした。</li> </ul>

※30年度末に自己評価して、公表する。

評価基準は『設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×』

## 平成30年度 吉田町議会議員目標と自己評価

4番 蒔田昌代

課題	取組内容	自己評価	評価理由
議会運営	議会の円滑な運営のための時間や準備、確認に努める。 議会においては、冷静に行動し、規範遵守に努める。	○	準備に重点を置き、行動できた。
情報発信	紙面やSNSなどを利用した情報発信を定期的にする。 個人議会報告会を行う。	×	紙面発行が出来なかった。
議会広報誌作成	「議会だより」を住民に読みやすい紙面にし、計画通りに作成していく。	○	計画通りに作成できた。
一般質問	町民の声を聴き、一般質問のための準備を行い、資料作成、質問力の向上をめざす。 一般質問を年2回行うこと。	○	一般質問を年2回行なった。
自己研さん	議員力向上のための研修会、講習会への参加をする。 問題を理解し、その本質を見極め、発言ができること。	△	研修会、講習会へは参加した。本質を見極めるための努力が必要。

※30年度末に自己評価して、公表する。

評価基準は『設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×』

## 平成30年度 吉田町議会議員目標と自己評価

5番 大石 巖

課題	取組内容	自己評価	評価理由
議会報告会	毎定例議会終了後に議会報告会を開催する。(個人開催)	△	定期的な開催ができなかった。
議会ニュース	毎定例会終了後に「よしだの風」を発行する。	○	4回定期発行し議会の様子を知らせることができた。
街頭議会報告	月2回以上、町内街頭での議会報告を行う。	○	毎週月曜日に街頭で行ったが、雨や入院等で行えなかった日もあった。
生活相談	みなさんからの生活相談や法律相談に親身に対応する。	◎	病気や交通事故、収入減などによる生活相談を受け、解決に努力した。

※30年度末に自己評価して、公表する。

評価基準は『設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×』

## 平成30年度 吉田町議会議員目標と自己評価

6番 山内 均

目標	取組内容	自己評価	評価理由
議員活動の充実	情報の発信と町の人達との交流及び連携。 行事・活動への積極的な参加。	◎	総務文教常任委員会委員長としての責務はしっかり果たした。 行事・活動への参加は積極的にできた。
議会での発言	住民の意見を正しく議会に反映。	○	積極的な情報収集と議会への発言はできた。
自己研鑽	自己研修や講習会等への積極的な参加。 他市町との交流。	◎	年2回の滋賀県での市町村議会議員研修に積極的に参加している。
議員の自覚	代表者・代弁者としての自覚と行動。 役割の確認と行動。	○	代弁者を自覚して発言を行うことができた。
役割の充実	住民の意見を正しく議会・行政に反映する活動。	○	一般質問は全部の議会定例会で行い、行政に伝える活動はできた。
情報発信	インターネット利活用の情報提供とPR。	△	FB、サイボウズの活用が目標に達していない。

※30年度末に自己評価して、公表する。

評価基準は『設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった＝×』

## 平成30年度 吉田町議会議員目標と自己評価

7番 三輪正邦

課題	取組内容	自己評価	評価理由
議員の政治論理	町民に対する背信はダメ。 良い事は良い 悪い事は悪い 自己責任が問われます。	○	左記については念頭に置いて行動している。
議員活動の充実	基本に戻って地域の問題や地域の行事に取り組むと共に行政の賛否に責任を持つ。	○	地域の問題に関して、仲間が増えてきている。
福祉への取り組み	地域の人達と力を合わせて取り組んで行くことにより福祉向上に努める。	○	相談者が増え解決に共に取り組めた。
議員の姿勢	頭は低く腰は軽く実れば実るほど頭が垂れる稲穂のように。これを行動基本にしていく。	○	忘れてはならない。

30年度末に自己評価して、公表する。

評価基準は『設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×』

## 平成30年度 吉田町議会議員目標と自己評価

8番 杉本幸正

課題	取組内容	自己評価	評価理由
議員責務の遂行	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 町民の意見を十分伺い議会活動に生かす。</li><li>・ 町民への議会情報の発進。</li><li>・ 議会基本条例等を遵守し町、町民のために議会活動をする。</li></ul>	×	入退院を繰り返し十分な議員活動ができなかった。
議会での発言	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 意見を正しく簡潔に発言する。</li><li>・ 正しい理解をして議会での発言回数を増やす。</li><li>・ 一般質問の回数を全年より増やす。</li></ul>	×	同上
情報の発進	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ICTの早期実現を図る。</li><li>・ 議会報告会以外の報告会の実現を目指す。</li></ul>	×	同上

※30年度末に自己評価して、公表する。

評価基準は『設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×』



## 平成30年度 吉田町議会議員目標と自己評価

10番 大塚邦子

課題	取組内容	自己評価	評価理由
議会運営	・議会運営委員会委員長並びに議会改革推進会議副座長としての役割に徹する。	○	委員長や副座長としての職務に専念し、計画通り運営することができた。
町民と行政のパイプ役	・町民の意見や要望、相談に即対応し、結果を知らせる。	○	町民からの意見や要望、相談に応じ、行政に繋げ、改善、解決することができた。
自己研鑽	・情報収集に努め、知識、教養を深める。	○	タブレットの活用や異業種交流などへの参加などにより情報収集に努め、知識・教養を深めることができた。
情報発信	・ホームページを更新する。	△	タイムリーに更新ができなかった。

※30年度末に自己評価して、公表する。

評価基準は『設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×』

## 平成30年度 吉田町議会議員目標と自己評価

11番 河原崎昇司

課題	取組内容	自己評価	評価理由
議会活動の充実	町民の意見の収集、情報発信、資料提供をする。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の皆さんとの対話で情報収集をし、町へ反映して諸問題の解決ができた。</li> <li>・報告書によって情報発信できた。</li> </ul>
自己研鑽の努力	研修会や講習会に積極的参加。 議員研修の充実と報告を図る。	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会や講習会に参加できた。</li> <li>・自己努力が少し足りなかった。</li> </ul>
議員報告会	議員活動の報告と町民の意見交換の中で情報を集め、市政のパイプ役となる。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や諸団体への個人報告会ができた。資料作成して報告し成果が出た。</li> <li>・道路、水路、農業用水の整備進んだ。</li> </ul>
防災対策	自然災害に対する対応策、地域防災訓練の充実と参加。 交通安全対策と町道の整備。 防潮堤、多目的広場の早期完成を目指す。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練、避難訓練に参加し町内会の皆さんと一緒に避難道、避難タワーへの避難場所の確認ができた。</li> <li>・交通安全対策として町道の整備、防潮堤、多目的広場の整備は順調に進捗している</li> </ul>

※30年度末に自己評価して、公表する。

評価基準は『設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×』

## 平成 30 年度 吉田町議会議員目標と自己評価

1 2 番 増田剛士

課題	取組内容	自己評価	評価理由
発言力の向上	会議等において、下調べをし根拠を持った発言を行う。	○	条例、国の法令等を事前に調査し、議論に臨んだ。
副議長としてコンフリクトマネジメントの実施	意見の衝突、対立を議論とし、互いの論点を見出し新たな方向性を探り合意、決定に導くことを図る。	△	やや強引な議論展開による、合意、決定を行った点を反省。
情報発信の強化	SNS による情報発信を速やかに行い町民の「知りたい！」に応える。	△	個人のFB、ブログ等の投稿が頻繁に行えなかった。

※30年度末に自己評価して、公表する。

評価基準は『設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×』

## 平成30年度 吉田町議会議員目標と自己評価

13番 八木 栄

課題	取組内容	自己評価	評価理由
一般質問	・30年度中に最低1回は一般質問をする。	◎	一般質問を2回実施
自己研鑽	・必要と思われる個人的な研修に参加し知識を身につける。	×	個人で参加のする研修には参加できなかった。
情報収集	・イベントや行事に参加し、住民のかたとのコミュニケーションをとり、暮らしの中での課題や意見を頂き、議会活動に生かす。	◎	色々なイベントや行事に参加し、大勢の方と意見を交わすことができた。また、それを自分の議会活動に生かすことができた。

※30年度末に自己評価して、公表する。

評価基準は『設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×』